
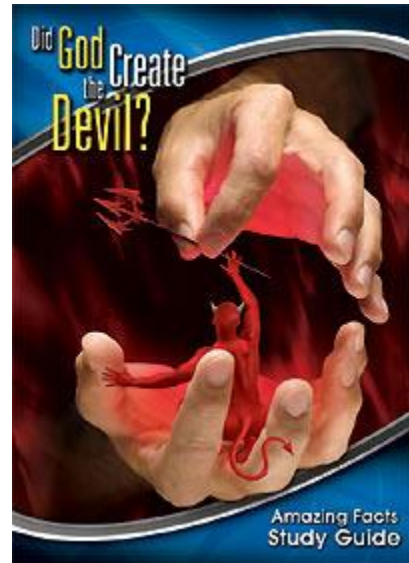


2. 神が悪魔を創られたのか？

このページのプリント 

世界のほとんどの人は、人間の生命を滅ぼすことを決意し、悪に秀でているある者にだまされています。それは悪魔またはサタンと呼ばれる才気に溢れた悪の首謀者です。この暗黒の君は、多くの人が思っているようなただのずる賢い、神秘的な人物ではありません。聖書は悪魔は実在していて、家族、教会、そして、国々さえだまして、悲しみと苦痛を増していると述べています。聖書には、この暗黒の君に関することと、あなたがどのようにして彼を征服することができるのかという驚くべき記録があります！



1. 罪はだれによって始まりましたか？

「悪魔は初めから罪を犯しているからである。」ヨハネの第一の手紙 3:8 「悪魔とか、サタンとか呼ばれ、全世界を惑わす年を経たへび」ヨハネの黙示録 12:9

答え： 悪魔とも呼ばれるサタンが罪の創始者です。聖書の光がなければ、罪の始まりは説明できません。



罪は悪魔と呼ばれているサタンから始まった。

2. サタンが罪を犯す前の名前は何ですか？ そのとき、彼はどこに住んでいましたか？



サタンは罪を犯したときには天に住んでいた。彼の名前はルシファーで、その意味は「明けの明星」であった。

「ああ、ルシファー、夜明けの子よ、どうして、あなたは天から落ちたのか！」イザヤ書 14:12 (欽定訳聖書) イエスは言われました、「わたしはサタンが電光のように天から落ちるのを見た。」ルカによる福音書 10:18 「あなたは神の聖なる山にいて。」エゼキエル書 28:14

答え： 彼の名はルシファーであり、天に住んでいました。ルシファーは、イザヤ 14 章で、バビロンの王として、またエゼキエル書 28 章では、ツロの王として象徴されています。

3. ルシファーは最初、どのような存在だったのですか？彼はどのような責任のある地位におかれていましたか？ 聖書は彼のことをどのように記していますか？

「あなたは造られた。」エゼキエル書 28:13,15 「わたしはあなたを油そそがれた守護のケルブと一緒に置いた。」エゼキエル書 28:14 「あなたは知恵に満ち、美のきわみである完全な印である ... もろもろの宝石が、あなたをおおっていた ... これらはあなたの造られた日に、あなたのために備えられた ... あなたは造られた日から、あなたの中に悪が見いだされた日まではそのおこないが完全であった。」エゼキエル書 28:12-15

答え： ルシファーは、他のすべての天使たちのように神によって造られました(エベソ人への手紙 3:9)。ルシファーは守護のケルブと呼ばれる天使で、聖書には一人の大いなる天使が神の御座の左に立ち、他の天使が右に立つと記されています(詩篇 99:1 欽定訳聖書)。ルシファーは最も高い地位についている天使の指導者の一人でした。彼には非の打ち所がなく、目を見張るような美しさを持っていました。ルシファーは完全な知恵を持ち、その輝きは畏敬の念を起させるような壮麗なものでした。エゼキエル書 28:13によると、ルシファーの声帯は傑出した音楽の才能を持つ者として特別に造られたことがわかります。彼が天使たちの聖歌隊を指揮していたと考える人もいます。



ルシファーは、神によって創造された天使であった。彼は完全な知恵と美の輝みであり、神の玉座の横に立っていた。

4. ルシファーの心にどのような思いが生じて罪を犯してしまったのですか？彼はどのような神の名を汚す罪を犯したのですか？

「あなたは自分の美しさのために心高ぶり、その輝きのために自分の知恵を汚した。」エゼキエル書 28:17 「あなたはさきに心のうちに言った、『わたしは天にのぼり、わたしの王座を高く神の星の上におき、北の果なる集会の山に座し、雲のいただきにのぼり、いと高き者のようになろう。』」イザヤ書 14:13,14

答え： プライド、妬み、不平、不満、自己称揚の精神がルシファーの心に生じました。ルシファーは、神をその御座より引きずり下ろそうと決意し、すべての者たちから礼拝されることを求めました。これは最も卑劣な反逆でした。

注： なぜ礼拝がそれほど重大なことなのでしょう？ 礼拝は、神と悪魔の間で繰り広げられている絶えざる戦いにおける主な要因であるからです。人間は創造主なる神だけを礼拝するときのみ満たされ、また幸福になることができるように創造されました。墮落しなかった天の天使たちでさえ礼拝されたり、拝まれたりしてはならないのです(ヨハネの黙示録 22:8,9)。サタンは最初から礼拝されることを求めました。何世紀も後に、サタンが荒野においてイエスを試みたときでさえ、依然として礼拝が争闘の中心でした(マタイによる福音書 4:8-11)。この世の終わりにおいて、神はすべての人々に神を礼拝するようにと呼びかけておられます(ヨハネの黙示録 14:6,7)。これはサタンを激怒させ、人々がサタンを拝むように強制し、拝まない人々を殺させるようにしてしまいます(ヨハネの黙示録 13:15)。



サタンは、人々が彼を礼拝することを望んでいる。サタンはイエスさえも彼を礼拝するように仕向けた。



それが何であれ、また誰であっても、神以外のものが私たちの人生で第一の場所を占めるならば、それは私たちが拝む偶像となる。

すべての人がだれかを、または何かを拝んでいます。それらは：権力、地位、名誉、食べ物、快楽、財産、だれかの意見、科学、動物、指導者などです。神は十戒の第二条で次のように言っておられます、「あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない」(出エジプト記 20:3)。私たちが神だけを礼拝するのでなければ、神にそむいているとみなされます(マタイによる福音書 12:30)。これはショッキングなことですが、真実なのです。私たちの人生において、もし神以外のものが第一の場所を占めるならば、たとえ私たちにそのつもりはなくても、実際にはサタンを支持し、サタンを礼拝することになってしまいます。神があなたの人生において首位を占めているでしょうか？それとも無意識にサタンを高めていますか？これらは厳粛で深刻な問いではないでしょうか！

5. ルシファーの反逆の結果、天でどのようなことが起こりましたか？

「さて、天では戦いが起った。ミカエルとその御使たちとが、龍と戦ったのである。龍もその使たちも応戦したが、勝てなかった。そして、もはや天には彼らのおる所がなくなった。この巨大な龍、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれ、全世界を惑わす年を経たへびは、地に投げ落され、その使たちも、もろともに投げ落された。」ヨハネの黙示録 12:7-9

答え：ルシファーは、天の三分の一の天使を自分の味方に引き入れることに成功し(ヨハネの黙示録 12:3,4)、天において反乱を起こしました。神はルシファーと彼に従った悪天使たちを天から追放せざるをえなくなりました。この戦いは、かつてないほどの最も激しい戦いでした。ルシファーの目的とするのは、それがいづれ神を殺害することになろうとも神の御座を奪うことでした(ヨハネによる福音書 8:44)。ルシファーは天から追放された後、サタン(敵対する者)とか悪魔(中傷する者)と呼ばれ、サタンに従った天使たちは悪天使と呼ばれました。



ルシファーの不満は、神に対する公な反逆となった。天の天使たちの三分の一が神を打倒することを企てた。その結果、ルシファーと悪天使たちは、天から追放された。

6. サタンの現在の活動の拠点はどこでしょうか？ サタンは人間に対してどのような思いを抱いているのでしょうか？

「主はサタンに言われた、『あなたはどこから来たか』。サタンは主に答えて言った、『地を行きめぐり、あちらこちら歩いてきました。』」ヨブ記 2:2 「それゆえに、天とその中に住む者たちよ、大いに喜べ。しかし、地と海よ、おまえたちはわざわいである。悪魔が、自分の時が短いのを知り、激しい怒りをもって、おまえたちのところの下ってきたからである。」ヨハネの黙示録 12:12 「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるしのように、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。」ペテロの第一の手紙 5:8

答え：多くの人が考えていることとは異なり、サタンの活動の拠点はこの地球であり、地獄ではありません。神はアダムとエバに、この地球の支配権を与えられました(創世記 1:26)。アダムとエバが罪を犯したときに彼らはその主権を失い、サタンがこの地球の支配者、あるいはこの世の君となりました(ローマ人への手紙 6:16、ヨハネによる福音書 12:31)。サタンは、神のみかたちに似せて創造された人間を痛烈に憎んでいます。サタンは神に害を加えることはできないので、代わりに、彼の激しい憎しみは神の子らに直接向けられるのです。彼は憎悪に満ちた邪悪な殺人者であり、あなたを滅ぼすことを狙っています。そうすることによって神に苦痛を与えることができるからです。



サタンの本拠地はこの地球である。彼は人間を嫌悪していて、あなたを滅ぼすことによって神を傷つけることを目的としている。

7. 神がアダムとエバを創られたとき、何をすることを禁じられましたか？その不服従の刑罰は何でしたか？

「しかし善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう。」創世記 2:17

答え：アダムとエバは、善悪を知る木の実を食べるべきではなかったのです。その木の実を食べる刑罰は死でした。



死の刑罰が課せられるゆえに、アダムとエバは、善悪を知る木の実を食べるべきではなかった。

8. エバをだますためにサタンはどんな手段を使いましたか？ サタンはどのような嘘をエバに言いましたか？

「さて主なる神が造られた野の生き物のうちで、へびが最も狡猾であった。へびは女に言った、『園にあるどの木からも取って食べるなど、ほんとうに神が言われたのですか。』へびは女に言った、『あなたがたは決して死ぬことはないでしょう。それを食べると、あなたがたの目が開け、神のように善悪を知る者となることを、神は知っておられるのです。』」創世記 3:1,4,5 (強調は引用者による)



サタンは会話のできる蛇の姿をして、エバに禁止された木の実を食べるように説得した。

答え： サタンは、エバを騙すために、神が創造された動物のうちで、最も狡猾で、最も魅惑的なへびを媒体として用いました。へびはもともと羽を持っていて、飛ぶことができた(イザヤ書 14:29; 30:6)) と考える人もいます。神がへびを呪われるまでは、へびは地を這うことはしなかったということを忘れないでください(創世記 3:14)。サタンの嘘は：(1) あなたは死ぬ事はない。(2) 善悪を知る木の実を食べると目が開けて賢くなり、神のようになれる。これがサタンの作り出した嘘でしたが(ヨハネによる福音書 8:44)、偽りと真理を混ぜてエバをだましました。偽りだけを言うよりも、少しの真理を含む偽りのほうが、人を騙すのには最も効果的なのです。罪を犯したのち、彼らが「悪を知る」ようになるというのは真実でした。神は愛のうちに、心痛、悲しみ、苦しみ、痛み、そして死の知識などを彼らに与えないでおられました。サタンは今日と同様に、罪を魅力的に見せかけました。サタンは神のご品性を曲解しない限り、だれも愛の神から離れ去ったり、遠ざかったりすることはないということを知っていたので、神のご品性を偽って伝えました。

9. 一切れの果物を食べることはそれほど悪いことだったのですか？アダムとエバは、なぜ園から追い出されてしまったのですか？

「人が、なすべき善を知りながら行わなければ、それは彼にとって罪である。」ヤコブの手紙 4:17 「すべて罪を犯す者は、不法を行う者である。」ヨハネの第一の手紙 3:4 「罪とは律法を犯すことである。」ヨハネの第一の手紙 3:4 (欽定訳聖書) 「罪を犯す者は、悪魔から出た者である。」ヨハネの第一の手紙 3:8 「主なる神は言われた、『見よ、人はわれわれのひとりのようになり、善悪を知るものとなった。彼は手を伸べ、命の木からも取って食べ、永久に生きるかもしれない。』...神は人を追い出し、エデンの園の東に、ケルビムと、回る炎のつるぎとを置いて、命の木の道を守らせられた。」創世記 3:22,24

答え： 果物を食べることは罪でした。なぜならそれは、神から直接に指示されたわずかな要求のうちの一つであったからです。彼らは神の律法と権威に公然と反抗したのです。神の戒めのひとつを拒否したことで、アダムとエバは、彼ら自身で神の敵であるサタンと同盟を結んでしまい、それゆえに神との間に分離をもたらしてしまいました(イザヤ書 59:2)。サタンは、アダムとエバが罪を犯した後に命の木の実を食べ、その結果不死の罪人となることを願っていました。けれども神は二人を園から追放し、そのような悲劇が起こることを防がれました。



食べることを禁じられている果実を食べることによって、アダムとエバは、サタン、すなわち神に激しく敵対する者と同盟を結んだ。

10. 人間に苦痛を与えて欺き、落胆させ、滅ぼすためのサタンの手段に関して、聖書が明らかにしている驚くべき事実とはどのようなことでしょうか？

答え： サタンは人間をだまして滅ぼすためには手段を選ばず、どんな方法でも用います。サタンの手下である悪霊たちは、義人のように、いえ聖職者にさえ成りすまして現れることができます。世の終わりには、サタンは、力ある光の天使に偽装して現れ、また、天から火を降らすこともします。またサタンはキリストを装って現れます。けれども、私たちは、それに関しての警告を受けてきましたので、サタンの罠にかかってだまされてはなりません。イエスがご再臨される時には、すべての目がイエスを見ます(ヨハネの黙示録 1:7)。そして、イエスは降り、雲の中に留まられますが、地に足を触れられることはありません(テサロニケ第一の手紙 4:17)。

聖書がサタンについて述べていること：

人を欺き迫害する ヨハネの黙示録 12:9,13	聖句を不正確に引用する マタイによる福音書 4:5,6
偽りの告発をする/殺人者 ヨハネの黙示録 12:10；ヨハネによる福音書 8:44	(人を落とし入れる)計略をし、罠にかける テモテへの第二の手紙 2:26；ペテロの第一の手紙 5:8
神の民に敵対して戦いを挑む ヨハネの黙示録 12:17	人を束縛し/裏切り行為を促す ルカによる福音書 13:16；ヨハネによる福音書 13:2,21
神の民を投獄する ヨハネの黙示録 2:10	人に取りつき妨害をする ルカによる福音書 22:3-5；テサロニケ人への第一の手紙 2:18
奇跡を行い/偽りを言う ヨハネの黙示録 16:13,14；ヨハネによる福音書 8:44	光の天使を装って現れる コリント人への第二の手紙 11:13-15
中傷する 「悪魔」という意味は「中傷する者」である	天から火を降らせる ヨハネの黙示録 13:13

11. サタンの用いる誘惑と策略は、いかに強力で効果的なものですか？

サタンの惑わしに関する聖書の記録：サタンは三分一の天使を説得して自分の味方に引き入れました（ヨハネの黙示録 12:3-9）。エデンの園においてエバをだましてアダムをも堕落させました（創世記 3章）。ノアの家族八人を除いて、ノアの時代の全人類をだまして滅ぼしました（ペテロの第一の手紙 3:20）。多くの人々をだまして、救われていないのに救われていると思わせず（マタイによる福音書 7:21-23）。世界のほとんどの人類を自分に従わせず（ヨハネの黙示録 13:3）。数少ない人々だけが神に従い救われます（マタイによる福音書 7:14; 22:14）。

答え：人を惑わすサタンの成功率は驚くほど高く、それは信じがたいほどです。サタンは、三分一の天使たちをだましました。ノアの時代には、*ノアを除く全ての人類*がだまされました。イエスが再びこの地上に再臨される前に、サタンは光輝く天使や、キリストの姿を装って現れます。彼の惑わす力は圧倒的ですから、*私たちの唯一の安全は、変装したサタンを見るために出て行かないこと*です（マタイによる福音書 24:23-26）。もしあなたが、彼を見に行ったり、聞いたりを断固として退けるのなら、イエスはあなたが惑わされることから守ってください（ヨハネによる福音書 10:29）。



サタンの終りの時代における人を惑わす力が余りにも強いので全世界のほとんどの人々が惑わされる。

12. サタンはいつ、どこで罪の刑罰を受けますか？ その刑罰はどのようなものですか？

「だから、毒妻が集められて火で焼かれるように、世の終りにもそのとおりになるであろう。人の子はその使たちをつかわし、つまずきとなるものと不法を行う者とを、ことごとく御国からとり集めて、炉の火に投げ入れさせるであろう。そこでは泣き叫んだり、歯がみをしたりするであろう。」マタイによる福音書 13:40-42 「そして、彼らを惑わした悪魔は、火と硫黄との池に投げ込まれた。そこには、獣にもせ預言者もいて、彼らは世々限りなく日夜、苦しめられるのである。」ヨハネの黙示録 20:10 「のろわれた者どもよ、わたしから離れて、悪魔とその使たちとのために用意されている永遠の火にはいってしまえ。」マタイによる福音書 25:41 「あなたは不正な交易をして犯した多くの罪によってあなたの聖所を汚したゆえ、わたしはあなたの中から火を出してあなたを焼き、あなたを見るすべての者の前であなたを地の上の灰とした。もろもろの民のうちあなたを知る者は皆あなたについて驚く。あなたは恐るべき終りを遂げ、永遠にうせはてる。」エゼキエル書 28:18,19



世の終わりに、サタンは火の海に投げ込まれ、灰となり、彼の存在は永遠に消え失せる。

答え：悪魔は、世の終わりに、この地球において火の池に投げ込まれます。火は悪魔を焼き尽くし、灰になり、彼の存在は永遠に消え失せます。またこの火は、すべての罪人をも焼き尽くします。大争闘におけるこの最終決着において、神の側に立っている人々はだれも滅ぼされることはありませんが、サタンの側についていながら生き残る者はだれ一人としていません。

参：サタンの滅亡に際して、父なる神と御子が味わう悲しみと苦悩は、言葉ではとても言い表すことができません。サタンは、他のどんな被造物よりも神と親密で、個人的に厚い友情関係を持っていました。サタンとサタンに従った無数の者たちを滅ぼすことは、火の中で滅ぼされる苦しみなど比べものにならないほど父なる神と御子に苦悩をもたらすのです。

13. 悲慘な罪の問題を永久に解決してくれるのは何でしょうか？ 罪は再び起こるのですか？

「すなわち、『主が言われる。わたしは生きている。すべてのひざは、わたしに対してかがみ、すべての舌は、神に賛美をささげるであろう』ローマ人への手紙 14:11（ピリピ人への手紙 2:10,11；イザヤ書 45:23 もご参照ください）「苦難は二度と起こらない。」ナホム書 1:9（欽定訳聖書）

答え：二つの重要な事柄が罪に関する問題を解決します。

1. 天と地に存在するもの、悪魔と彼に従う悪天使たちを含むすべてのものが、すべてのもの前でひざをかがめ、「神は真実で公平で正しいおかたである」と心からの告白するのです。すべての問いは答えられます。すべての罪人は公に、自分たちが滅びに至ったのは、彼ら自身が神の愛と救いを頑固に拒んだ結果であることを認めます。彼らは、正義は彼らの死を要求していることも認めるのです。すべてのものが、彼らは永遠の死に値することを言い表します。
2. 罪と罪人、悪魔と悪天使たちを、完全に最終的に滅ぼすことによって罪は宇宙から一掃されます。神はこの点に関してはっきりと、神の宇宙を損なう罪は二度と起こることはないと言っておられます



天にいる神の民は永久に罪から解放され安全である。罪は二度と起こらない。

14. この宇宙から罪を最終的に、そして確実に根絶してくださる方はどなたですか？



イエスは罪の根絶を可能にされた。

「神の子が現れたのは、悪魔のわざを滅ぼしてしまうためである。」ヨハネの第一の手紙 3:8 「このように、私たちは血と肉と共にあずかっているので、イエスもまた同様に、それらをそなえておられる。それは、死の力を持つ者、すなわち悪魔を、ご自分の死によって滅ぼし、」へブル人への手紙 2:14

答え： イエスのご生涯、死、復活を熟考してください。イエスが、罪の根絶を確実なものとなされました。

15. 父なる神は、人々のことをどのように思っておいでですか？

「父ご自身があなたがたを愛しておいでになるからである。」ヨハネによる福音書 16:27 (ヨハネによる福音書 3:16; 17:22, 23 もご参照ください)

答え： 御子が人類を愛されるように、父なる神も人々を愛しておられます。イエスのご生涯の目的は、ご自身の生活の中に父なる神のご品性を現すことであり、それによって人々が、父なる神がいかに優しく、思いやり深く、あたたかい品性の持ち主であるかを知ることができるためでした (ヨハネによる福音書 5:19)。

サタンは父なる神のご品性を誤り伝えます。

サタンは、神が冷酷、無情で、過酷で厳しく、近寄り難い(これらは悪魔の特性です) おかたであると人々に偽り伝えていきます。サタンはまた、彼自身の卑劣な痛ましい行為でさえ「神の行為」と名づけてしまうのです。イエスは、この父なる神のみ名に対する中傷を拭き取り、母親が子供たちを愛する愛にまさって父なる神は私たちが愛しておられることを示すためにこの世にお出でになりました (イサヤ書 49:15) イエスの好まれたテーマは、神の忍耐、寛容、大いなる哀れみなどでした。

父なる神は待ちかねておられます

人々をこの上ない幸福な者たちとしてくださるために、私たちの父なる神は、永遠のすばらしい住まいを備えてくださっています。この地上で私たちが思い描いているどのようなすばらしいものも、神がお備えになっておられるものとは比べることができません！ 間近に迫っているご自分の子らが帰郷する喜びの日を、神は待ちわびておられます。この喜ばしい神の約束を一人でも多くの人に伝えましょう。そして、その日のために私たち自身も準備をしましょう。その日が迫っています。



私たちの父なる神は、この地上の父親が自分の子供を愛する以上に私たちが愛しておられる。神は、私たちが神の新しい王国に迎え入れる日を待ちかねておられる。

16. 私は、イエスが私を愛してくださるように、父なる神が私を愛してくださることを知ることができてうれしく思います。



答え：

- はい
- いいえ

質問

1. アダムとエバが食べた果実はりんごですか？ 創世記 3:6

聖書がそのことに関して記していませんので、分かりません。

2. 悪魔のことを、角と尾を持つ赤い半人半獣であると描写されますが、その発想はどこからきているのですか？ エゼキエル書 28:14

この発想は異教の神話学からきており、悪魔を喜ばせず。悪魔は有識者たちはそのような怪物は寓話として受けつけず、彼の存在を否定することを心得ています。悪魔の存在を認めず信じない人は、真っ先に悪魔の策略によってだまされます。

3. 神はアダムとエバに「あなたがそれを食べる日に、あなたは必ず死ぬであろう」創世記 2:17（欽定訳聖書）と言われましたが、なぜ彼らはその日に死ななかったのですか？ 創世記 2:17

聖書の中には二種類の死が記されています：

- (1)「第一」の死は、すべての人が経験する死です（ヘブル人への手紙 9:27）。
(2)「第二」の死は、世の終わりに地獄の火で焼かれる悪人の死です（ヨハネの黙示録 21:8）。
その違いは、第二の死は復活がないということです。それは永遠の死です。

イエスは人類一人一人のために、第二の死を死なれました。

アダムとエバが罪を犯した時点で、彼らはともに第二の死を死なねばならなかったのです。しかし、神の御子がお場で、彼らに代わってカルバリーの十字架で、第二の死を死ぬことを申し出てくださいました。イエスの最高の犠牲が彼らに与えられました（ヘブル人への手紙 2:9）。

アダムが罪を犯した時に彼の「不死」の性質は、「死ぬべき」性質になりました。

第一の死に関して、創世記 2:17 の「死」という言葉の本来の解釈は、ほとんどの聖書の欄外に「死を死んでゆく」と記されています(参;英語聖書のみ)。この意味は、アダムとエバの死にゆく過程が始まったということなのです。彼らが罪を犯す前は不死の体を持ち、罪のない性質を持っていました。この性質は、命の木の実を食べることによって永続していました。彼らが罪を犯したその瞬間、彼らは死ぬべき罪の性質に変わってしまいました。これが神が予告されたことなのです。命の木の実を食べることを禁じられてしまったため、ただちに衰退と退化、そして最終的な死に至る過程が始まりました。墓に行くことが確かになりました。主は後に、「あなたは ... 土に帰る、あなたは、ちりだから、ちりに帰る。」(創世記 3:19) と彼らに言われたとき、このことを強調されたのです。

4. 神がルシファーを造られたのですから、ルシファーの罪の責任は、本当は神にあるのではないですか？ ヨシュア記 24:15

決してそのようなことはありません。神はルシファーを完全な罪なき者として造られました。ルシファーは自らの選択で自分を悪魔にしたのです。選択の自由は、神の国における統治の礎石をなすものです。神はルシファーを創造されたときに彼が罪を犯すことをご存知でした。その時点で、もし神がルシファーを創造することを辞退されたならば、選択の自由という最も大切な原則を否認されたことになったのです。

「選択の自由」が神の原則です。

ルシファーがどのようなことをするのかを神は事前にご存知でありましたが、それでもルシファーを創造されました。この同じ事実がアダムとエバの創造に関しても当てはまり、そしてそれはまた、御国が近づいている現在の私たちにも当てはまります。神は、私たちが生まれる前から私たちがどのように生きるかをご存じでありながら、それでも私たちが、神か悪魔のどちらを支持するのかということを選び、生きることを許されるのです。神は幾世紀にもわたって、すべての人々に、だれに従うのかということを選択する自由を十分に時間をくださっている間、御自分が誤解され、偽りの告発や非難されることにも甘んじられてこられたのです。

すべての者に完全な自由を与えるという危険を冒されるのは愛の神だけです。

この栄誉あるきわめて重要な選択の自由という賜物は、正義と、すべてを明らかにされる愛の神からのみ来るものです。このような主であり友であるお方に仕えることは特権であり、喜びです。 **神にお仕えすることを選びましょう。**

罪の問題はやがて終わります。最初に神が世界を創造されたとき、すべては「はなはだ良かった」創世記 1:31 のですが、今日、「全世界は悪しき者の配下」ヨハネの第一の手紙 5:19 にあります。全世界にいるすべての人々は、神に仕えるのか、またはサタンに仕えるのかということを選択しています。主に仕えするために、神があなたに与えてくださった素晴らしい選択の自由という賜物を使いましょう。

5. 神はなぜ、ルシファーが罪を犯した時点で彼を滅ぼして、罪の問題を解決しなかったのですか？

コリント人への第一の手紙 4:9

神の宇宙には、それまで罪というものがないので、宇宙の住人は罪について理解していませんでした。おそらくルシファー自身でさえも、始めは完全に理解していなかったことでしょう。ルシファーは、才気ある非常に尊敬されていた天使の頭でした。彼は天と天使たちに対して最大の関心を抱いているということを示したので、彼の取った手段は疑いを持たれることはありませんでした。そしておそらく次のように言ったことでしょう。「天は良い所だが、もし、もっと天使たちの意見が尊重されるならばさらに良い所になるに違いない。父なる神と子なる神が余りにも絶対的な権威を行使するので、天使の指導者たちの本来あるべき立場を見えなくしているようだ。天使たちは神から命令を受ける必要はないはずだ。われわれが指図する立場にあるべきだ。神は私のこの提案が正しいことをご存知であり恐れているのだ。高潔で気高いわれわれ天使たちが何も把握しないことによって、天そのものの存在を危険に陥れるようなことが許されるべきではない。もしわれわれが一致して行動を起すならば、神はわれわれの言い分を聞いてくださるであろう。われわれは弱気であってはならない、実行に移すべきである。そうでなければわれわれの真価を認めない政府によって滅ぼされてしまうだろう。」

三分一の天使たちが、ルシファーに加担しました。

ルシファーの弁論は多くの天使たちを説得し、三分一の天使たちがルシファーの側に加わりました。その時点で神がルシファーをすぐに滅ぼされたのであれば、神の愛のご性質を完全に理解していない天使たちは、恐れから神を礼拝するようになってしまい、次のように言ったことでしょう「ルシファーは正しかったのかもしれない。気をつけなければ、もし神と意見が異なるならば神に滅ぼされてしまうかもしれない。」これでは何の解決にもなっていないどころか、いっそう深刻な問題になっていたことでしょう。

神は自発的な愛の奉仕だけを受け入れられます。

神を受け入れられる奉仕とは、愛の動機でなされる自発的で喜びにあふれた奉仕です。神はこれ以外のどんな理由に基づく服従も、受け入れることがおできになりません。

神はサタンに、彼の原則を表明する期間を与えられました。

サタンは、宇宙の統治のためにいっそう優れた計画があると公言しました。神は、サタンが彼の主義を実行する機会を与えられました。主は宇宙のすべての魂が、サタンの統治は不公平で憎むべきもの、無慈悲であり、偽りと破壊的であることを認めた後にのみ罪を滅ぼされます。

宇宙の住民は、この地球を見守っています。

聖書は、コリント人への第一の手紙 4:9 で「わたしたちは、全世界に、天使にも人々にも見世物にされたのだ。」と記しています。キリストとサタンの間で繰り広げられている大争闘において、私たちがどのような役割を果たすのかを全宇宙が見守っています。この大争闘が終結するとき、すべての人々は両方の王国の原則を完全に理解し、キリストまたはサタンのどちらに従うかを選ぶことになるのです。罪、そしてサタンと同盟を結ぶことを選んだ人々は、サタンとともに滅びることになり、神を選んだ人々は、永遠に平和な天の住まいに移されます。

クイズ

1. 誰によって罪は始まりましたか？(1)

- ミカエル
- ルシファー
- ガブリエル

2. ルシファーが、最初に罪を犯した時、彼はどこにいましたか？(1)

- 地上
- 天
- 北の星

3. ルシファーについて述べられている文にしるしをつけてください。(6)

- 創造された天使であった。
- 知恵に満ちていた。

- 天の白い馬に乗っていた。
- 彼の行いは完全であった。
- 天国の門の番人であった。
- 抜群の音楽家であった。
- 美のきわみ、完全な美であった。
- 守護のケルブであった。

4. ルシファーの反逆に関して正しい文章に印をつけてください。(5)

- 天から投げ落とされた。
- 悔い改めて天に留まった。
- 神殿の中に隠れた。
- 彼の名はサタンとなった。
- 彼は最初の罪人であった。
- イエスは、サタンが投げ落とされるのを見られた。
- 三分一の天使たちが、サタンと共に投げ落とされた。

5. ルシファーは何を望んでいましたか?(2)

- 拝まれること。
- 神の座を覆し、その位を取ること。
- 全宇宙を飛び交うこと。

6. 悪魔であるサタンに関して正しい文章に印をつけてください。(4)

- 赤い色をして、角とひずめを持っている。
- 住まいは地獄である。
- 人々を愛している。
- サタンは天使の姿を装うことができる。
- 奇跡を行うことはできない。
- うそつきで、殺人者である。
- 火を天から降らせることができる。
- ほとんどの人々は彼に従って、滅びる。

7. 次の文章で、アダムとエバの墮落に関して正しいものを選んでください。(3)

- サタンは天使を装って来た。
- サタンは、神はうそつきだと言った。
- サタンがアダムとエバにリンゴを与えた。
- サタンは最初にアダムのところに来た。
- サタンはアダムとエバが不死の罪人になることを望んだ。
- サタンは、アダムとエバをだますために、真理と偽りを混ぜた。

8. サタンの最終的な刑罰に関して正しい文は下記のどれですか?(4)

- 燃えて灰になる。
- サタンに従っていた悪天使たちは逃れる。
- 火は天に存在する。
- サタンと悪天使たちは、自分たちが間違っていたことを認める。
- 火は罪と罪人をも滅ぼす。
- サタンは、神の正義を告白する。

9. なぜ神は、ルシファーが罪を犯したときに滅ぼされなかったのでしょうか?(4)

- 天使たちが神のことを誤解してしまうかもしれなかったので。
- ある者は神を恐れてしまうかもしれなかったので。

- ルシファーは神には強すぎる存在であったので。
- 罪を犯さなかった天使たちがルシファーが減ほされないように防御したため。
- ルシファーが彼の計画を実施し、それを表明するために時が必要であったため。
- 神のご計画の正当性を証明するために時が必要であったため。

10. 何が最終的に、神の政府の正当性を証明しますか？(1)

- 神は幾つかの奇跡を働かれる。
- 宇宙の全ての者がひざをかかめて、神の愛と義を告白する。
- 天の天使たちが、神に仕えるようにとすべての者に呼びかける。

11. 下記の文で、罪に関して正しいことを述べているものはどれですか？(5)

- イエスは罪の根絶を確実なものとされた。
- 罪とは神の律法を犯すことである。
- 罪は神から私たちを離れさせてしまうものである。
- 罪に勝利することは簡単なことである。
- サタンはうそをつくという罪の創始者である。
- 罪は一度根絶されたら二度と起こることはない。

12. 下記の文で正しいものはどれですか？(5)

- サタンは、自分の属性を神のせいに行っている。
- 神は、両親が子供を愛する以上に私たちを愛しておられる。
- いわゆる「神の業 (天災地変)」とされていることは、サタンの仕業である。
- イエスのご生涯は、神のご品性の表れである。
- 父なる神は厳しく恐ろしいお方である。
- ほとんどの人が神のことを誤解している。

著作権 ; 2006 年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.